

# 定点把握疾患の届出状況(令和5年3月～8月)

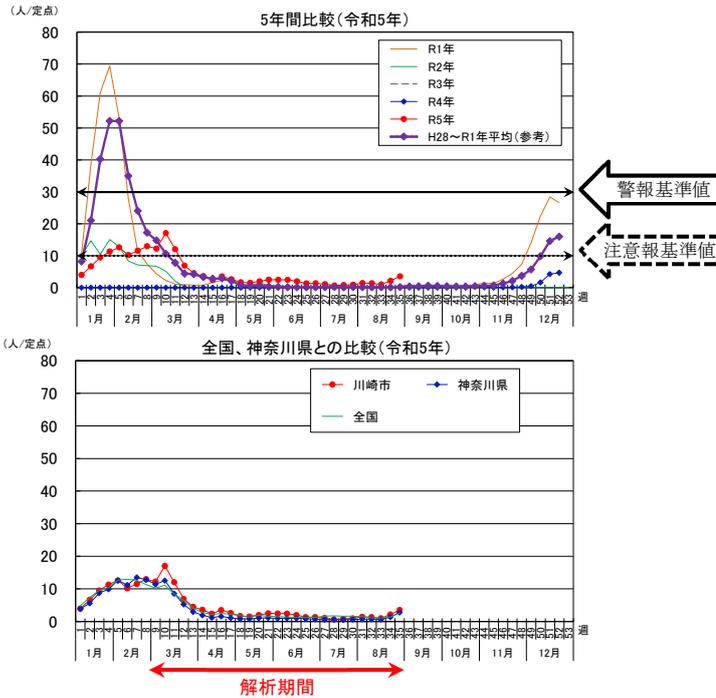
## <インフルエンザ/COVID-19定点対象疾患>

インフルエンザ(警報基準値:定点当たり30人、注意報基準値:定点当たり10人)

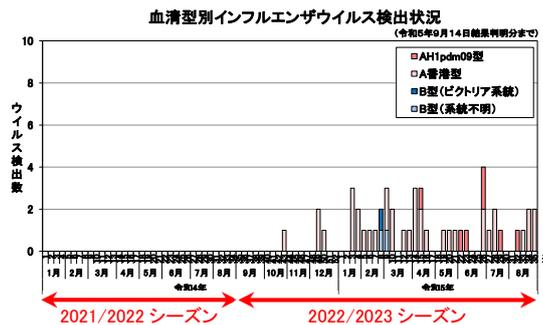
※令和2年～令和4年は新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、報告数が著しく減少したため、平成28年から令和元年の平均と比較を行った。

### 【川崎市】

今期(令和5年3月～8月)は定点当たり3.54人の報告となり、新型コロナウイルス感染症の流行前と比較すると1.70倍で、例年より高いレベルで推移しました。2022/2023シーズンは、令和4年第50週に流行開始の目安である定点当たり1.00人を超え、3シーズンぶりに流行期が始まり、令和5年第4週に流行発生注意報基準値を超え、第10週に流行のピーク(定点当たり17.05人)となりました。その後報告数は減少したものの流行期が継続していましたが、第28週に定点当たり1.00人を下回り非流行期となりました。その後第31週に再び流行期となり、第33週には非流行期となりましたが、第34週からは再度流行期となりました。

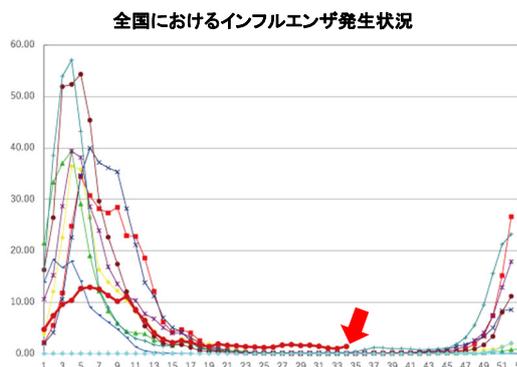


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。2022/2023シーズンは、A香港型が37件、AH1pdm09型が7件、B型(系統不明)が2件、B型(ビクトリア系統)が1件検出されました。



### 【全国及びその他】

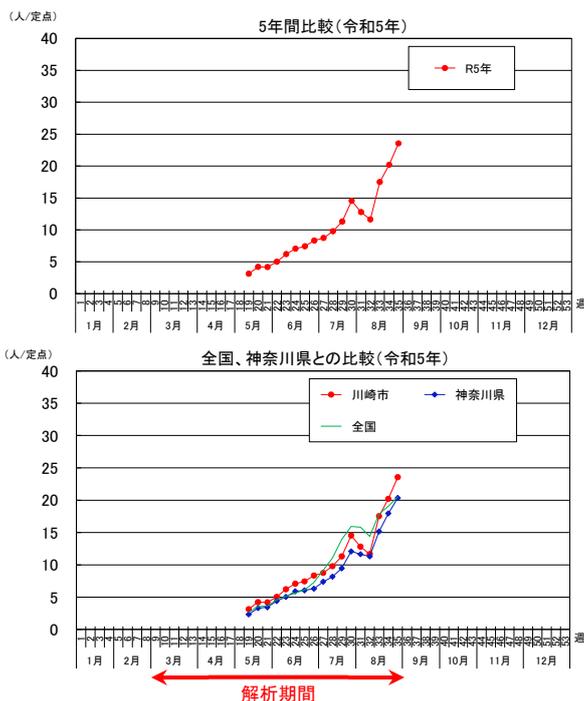
全国的にも例年より高いレベルで推移しました。



# 新型コロナウイルス感染症

## 【川崎市】

新型コロナウイルス感染症が定点把握疾患となった令和5年第19週以降の定点当たり報告数は10.25人でした。第19週以降報告数の増加が続いており、第35週には定点当たり23.56人となりました。



## 【全国及びその他】

全国的にも増加がみられました。



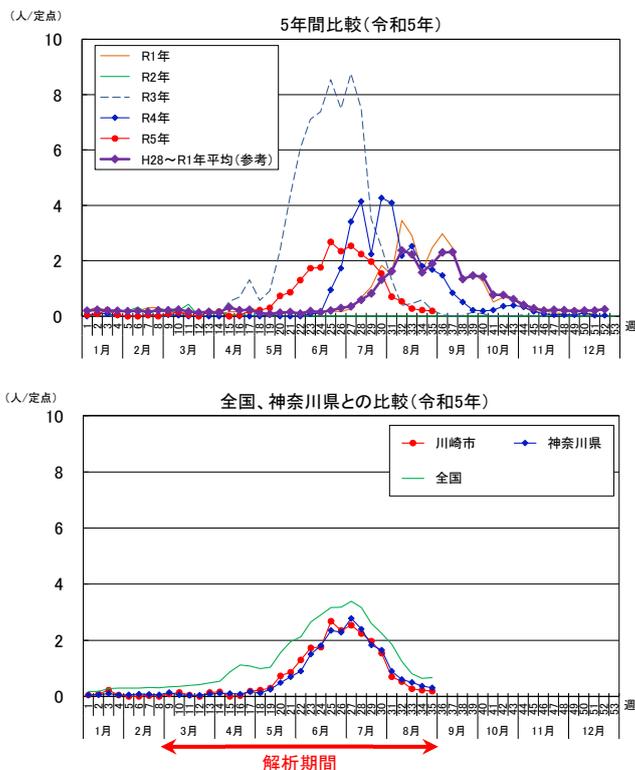
## <小児科定点対象疾患>

※令和2年から令和4年は新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、報告数が著しく減少したため、平成28年から令和元年の平均と比較を行った。

### RSウイルス感染症

#### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.85 人の報告があり、新型コロナウイルス感染症の流行前と比較すると 1.48 倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。5月下旬以降患者報告数が増加し、第25週に流行のピーク（定点当たり 2.68 人）となりました。

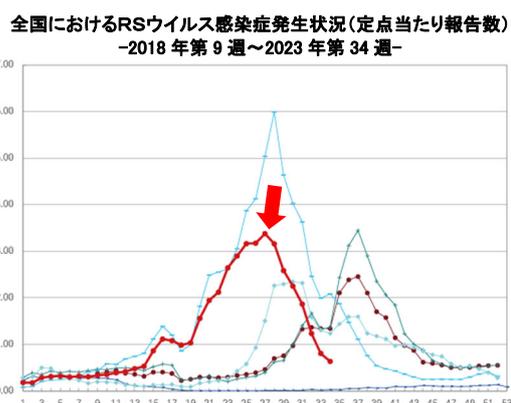
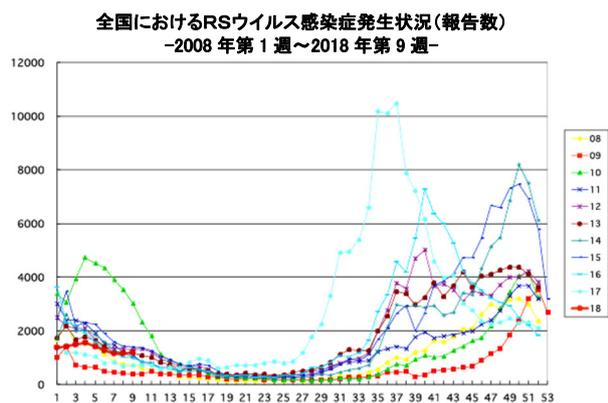


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
高津区	女	4	R5.6.12	鼻腔ぬぐい液	RSウイルス B型
幸区	男	11 か月	R5.6.19	咽頭ぬぐい液	RSウイルス A型

#### 【全国及びその他】

全国的にも例年よりやや高いレベルで推移しました。



※2018年第9週(2月26日~3月4日)から、国立感染症研究所におけるRSウイルス感染症の集計方法が変更となりました。(報告数→定点当たり報告数)

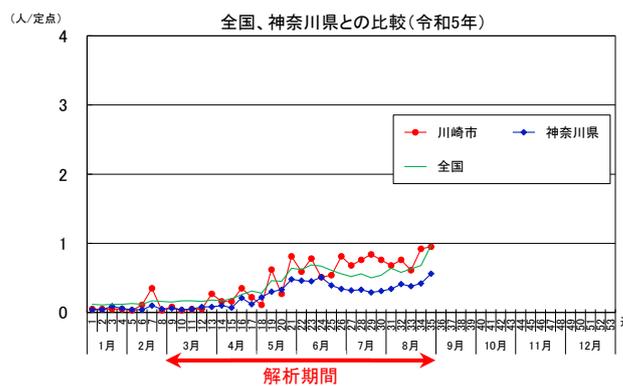
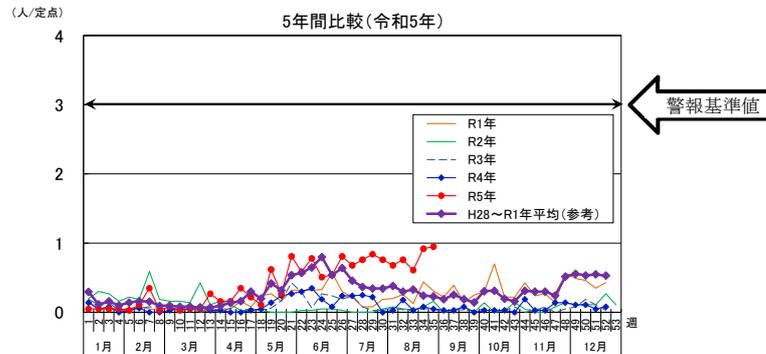
咽頭結膜熱(警報基準値:定点当たり3人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.49 人の報告があり、新型コロナウイルス感染症の流行前と比較すると 1.51 倍で、例年より高いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (3) 以上となった週は、中原区で第 21 週 (3.83 人)、第 23 週

(3.83 人)、第 25 週 (3.00 人)、第 26 週 (4.00 人)、第 27 週 (3.00 人)、第 28 週 (3.67 人)、第 29 週 (4.50 人) 第 30 週 (3.67 人)、第 31 週 (3.67 人)、第 32 週 (3.17 人)、高津区で第 35 週 (3.33 人) でした。



なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
高津区	女	2	R5.5.8	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A2 型
高津区	女	6	R5.6.29	鼻咽頭ぬぐい液	ヒトヘルペスウイルス 6 型
高津区	男	4	R5.6.29	鼻咽頭ぬぐい液	RSウイルス B 型

【全国及びその他】

全国的には例年並みのレベルで推移しました。

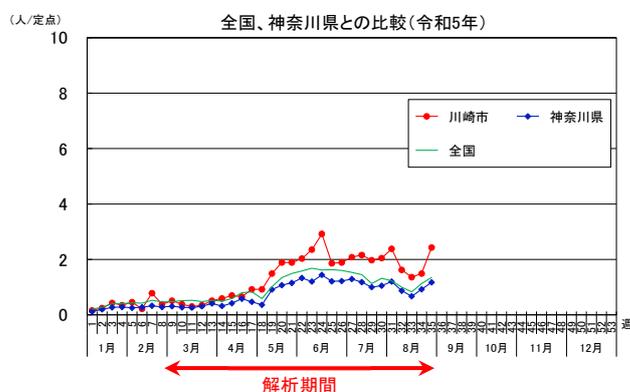
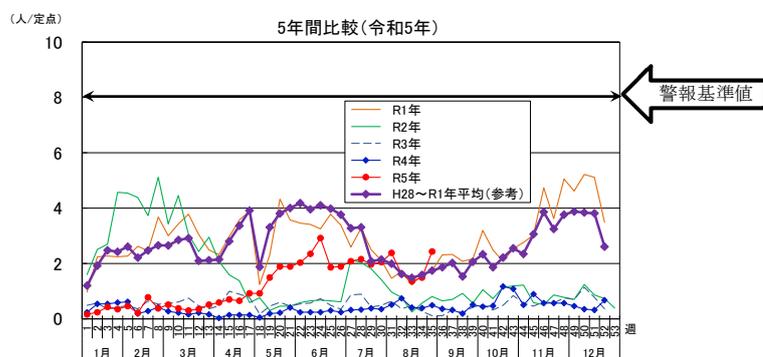


## A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(警報基準値:定点当たり8人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 1.47 人の報告があり、新型コロナウイルス感染症の流行前と比較すると 0.51 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値以上となった週はありませんでした。

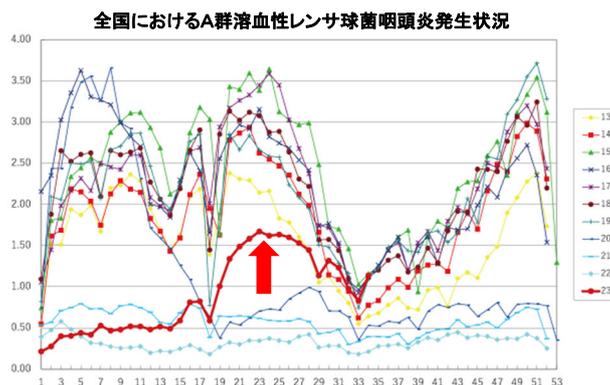


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
中原区	男	3	R5.5.9	咽頭ぬぐい液	A群溶血性レンサ球菌 T28

### 【全国及びその他】

全国的にも例年よりやや低いレベルで推移しました。

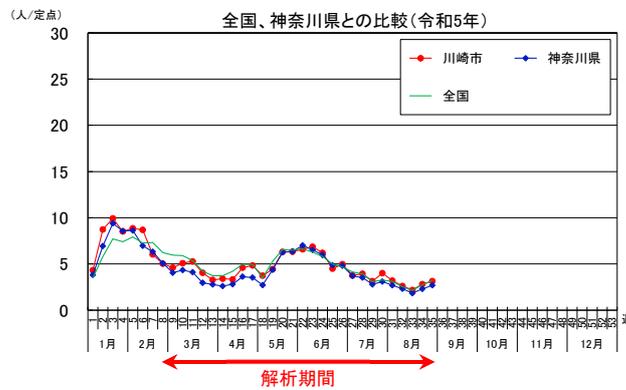


## 感染性胃腸炎(警報基準値:定点当たり 20 人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 4.35 人の報告があり、新型コロナウイルス感染症の流行前と比較すると 0.73 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値以上となった週はありませんでした。

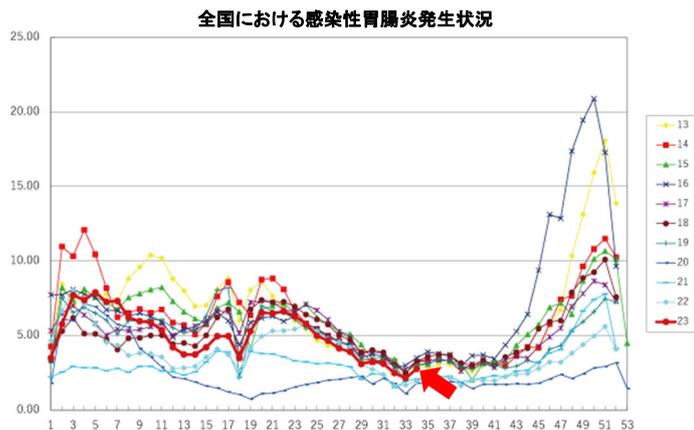


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果(ウイルス)	検査結果(細菌)
幸区	男	6 か月	R5.3.1	便	陰性	陰性
高津区	男	1	R5.5.11	便	陰性	陰性
高津区	男	15	R5.8.1	便	陰性	陰性

### 【全国及びその他】

全国的には例年並みのレベルで推移しました。

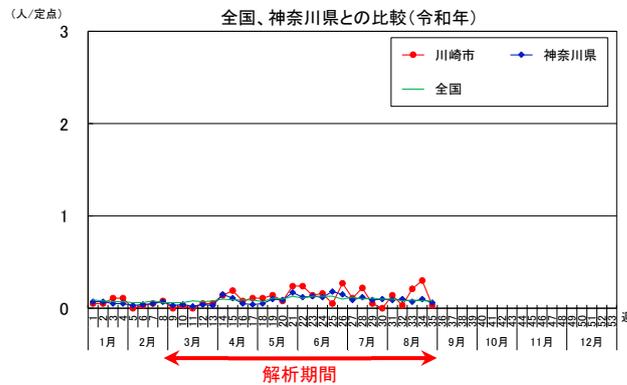
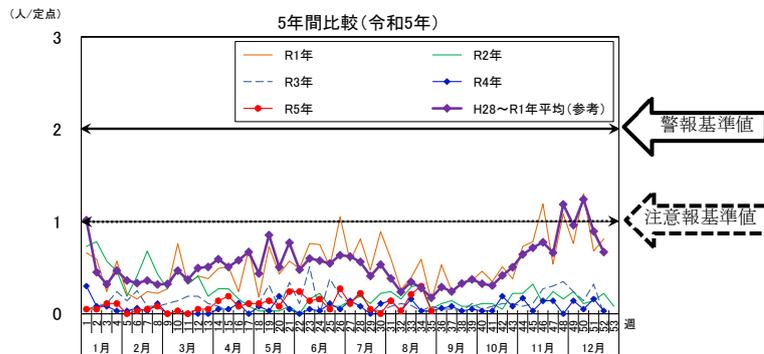


水痘(警報基準値:定点当たり2人、注意報基準値:定点当たり1人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.12 人の報告があり、新型コロナウイルス感染症の流行前と比較すると 0.24 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

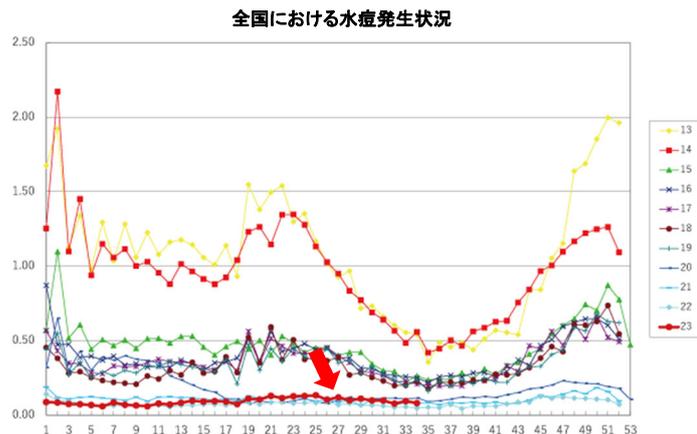
今期、流行発生警報基準値以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

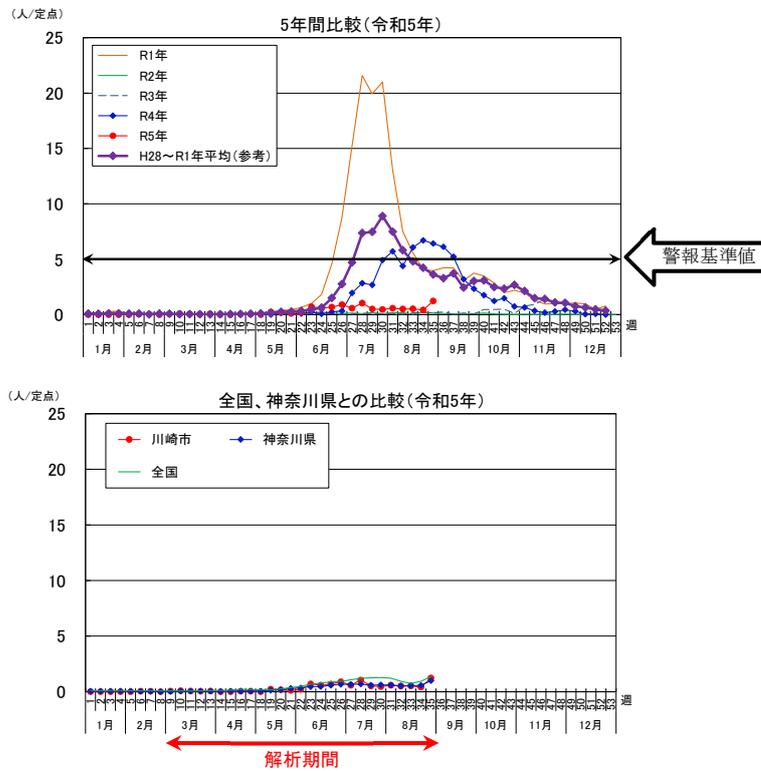


## 手足口病(警報基準値:定点当たり5人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.35 人の報告があり、新型コロナウイルス感染症の流行前と比較すると 0.16 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

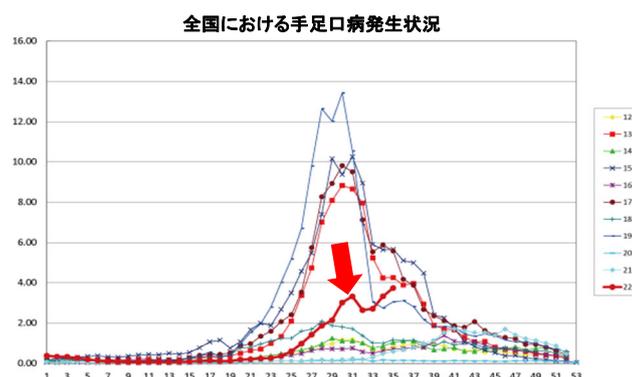
今期、流行発生警報基準値以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

### 【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

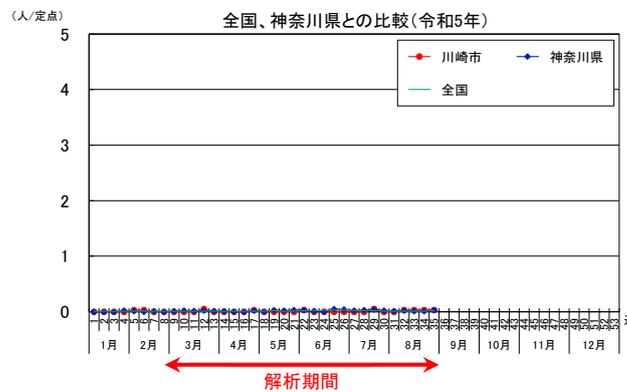
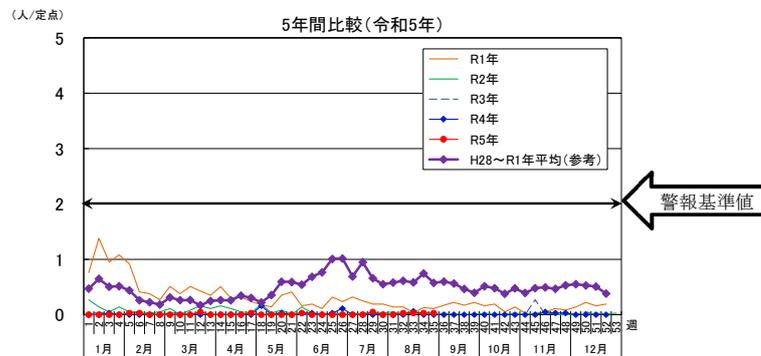


伝染性紅斑(警報基準値:定点当たり2人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.01 人の報告があり、新型コロナウイルス感染症の流行前と比較すると 0.02 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

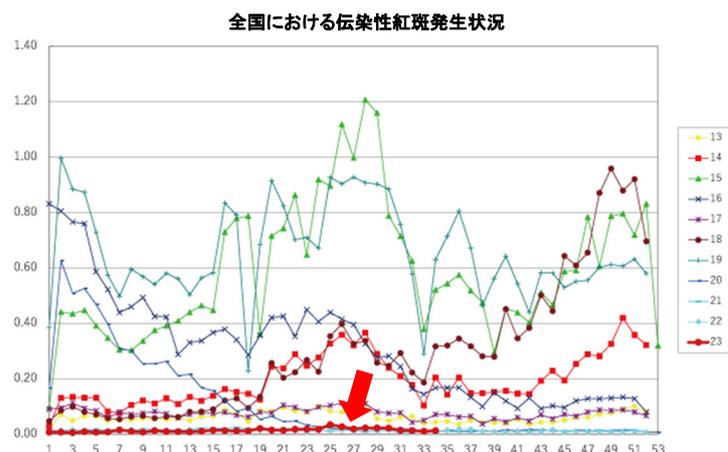
今期、流行発生警報基準値以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

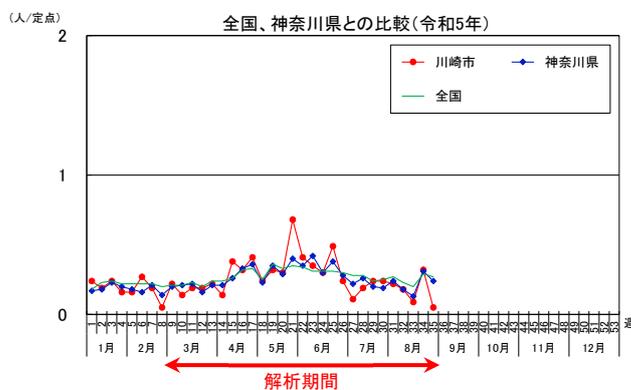
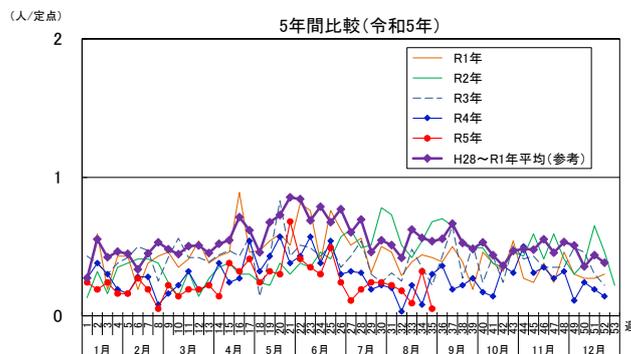


## 突発性発しん

### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.27 人の報告があり、新型コロナウイルス感染症の流行前と比較すると 0.45 倍で、例年より低いレベルで推移しました。

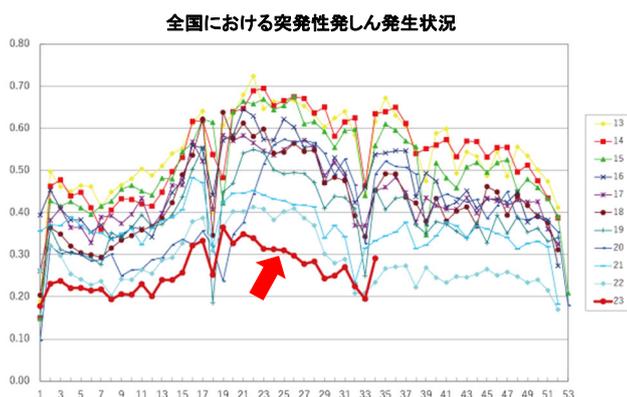
また、年齢階級別では 1 歳以下が 82.2%を占めていました。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

### 【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

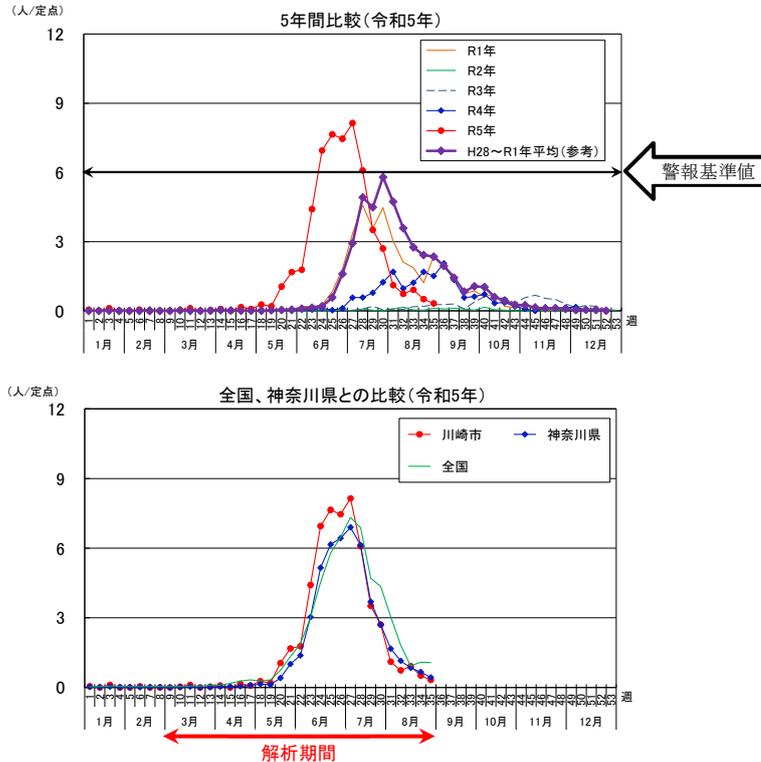


# ヘルパンギーナ(警報基準値: 定点当たり 6 人)

## 【川崎市】

今期は定点当たり 2.08 人の報告があり、新型コロナウイルス感染症の流行前と比較すると 1.53 倍で、例年より高いレベルで推移しました。第 20 週以降報告数が増加し、第 24 週には定点当たり患者報告数が 6.95 人となり、平成 28 年以来 7 年ぶりに流行発生警報基準値を超えました。第 27 週に流行のピーク(定点当たり 8.14 人)となった後、報告数は減少しました。

今期、流行発生警報基準値(6)以上となった週は、川崎区で第 24 週～第 27 週、幸区で第 23 週～第 28 週、高津区で第 24 週～第 27 週、宮前区で第 23 週～第 29 週、多摩区で第 24 週～第 28 週でした。

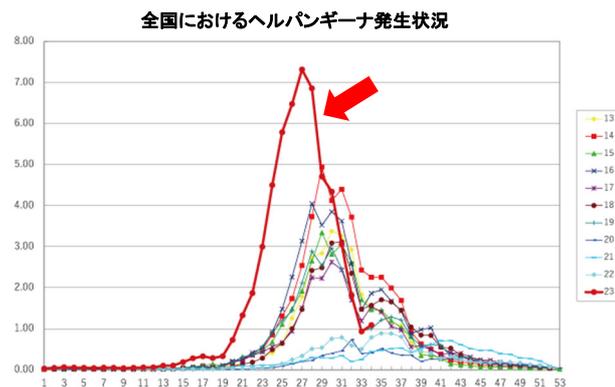


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
幸区	男	3	R5.5.10	咽頭ぬぐい液	エンテロウイルス A71 型
宮前区	男	1	R5.6.3	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A4 型
幸区	男	2	R5.6.12	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A2 型
宮前区	女	2	R5.6.22	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A2 型 コクサッキーウイルス A6 型
高津区	男	1	R5.6.26	咽頭ぬぐい液	パラインフルエンザウイルス 4 型

## 【全国及びその他】

全国的には例年よりかなり高いレベルで推移しました。

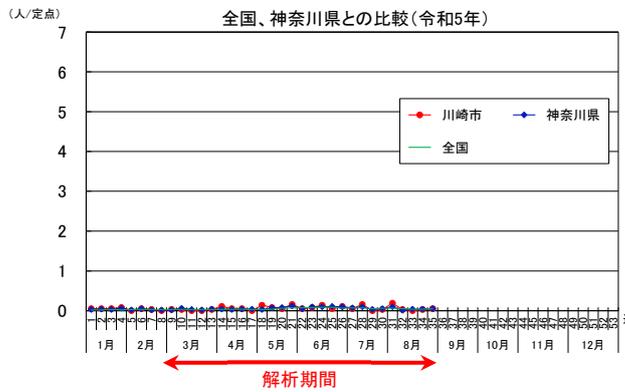
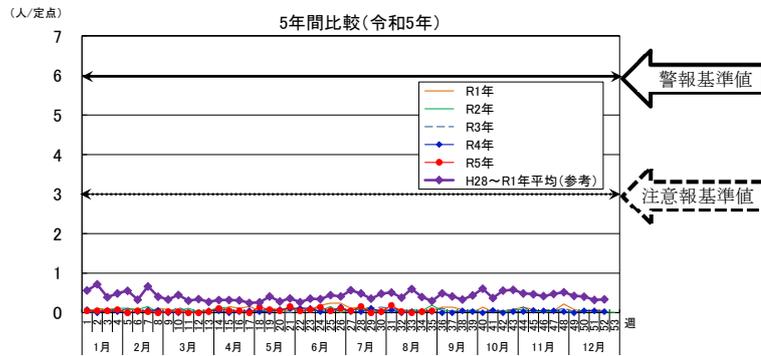


流行性耳下腺炎(警報基準値:定点当たり6人、注意報基準値:定点当たり3人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.06 人の報告があり、新型コロナウイルス感染症の流行前と比較すると 0.16 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

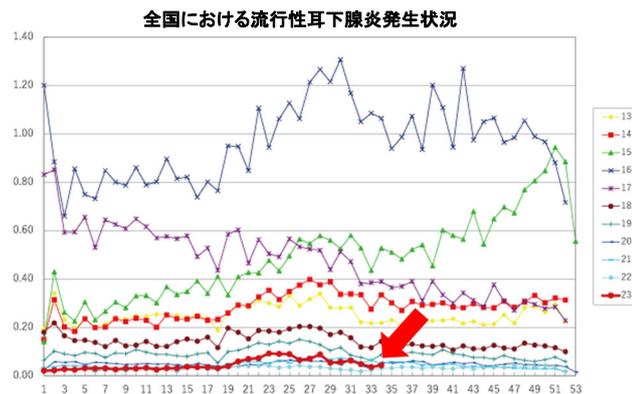
今期、流行発生注意報基準値以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。



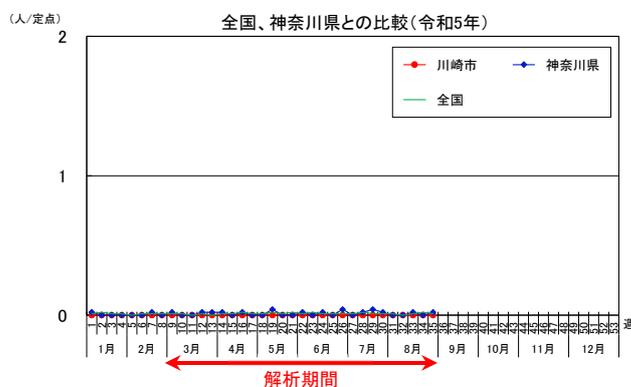
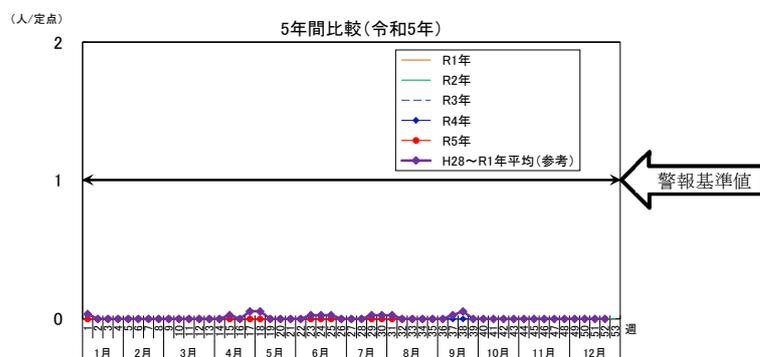
## <眼科定点対象疾患>

※令和2年から令和4年は新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、報告数が著しく減少したため、平成28年から令和元年の平均と比較を行った。

### 急性出血性結膜炎(警報基準値:定点当たり1人)

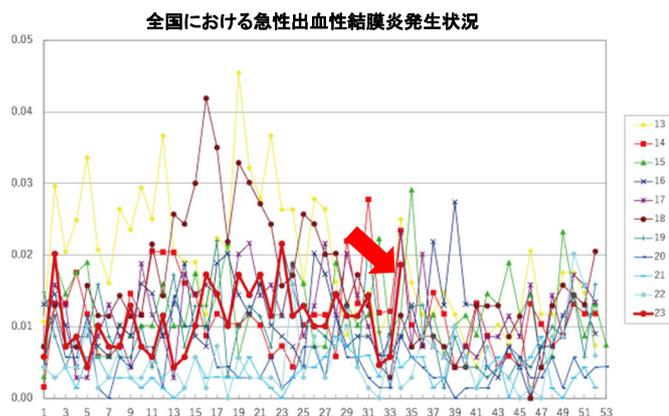
#### 【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



#### 【全国及びその他】

全国的には例年並みのレベルで推移しました。

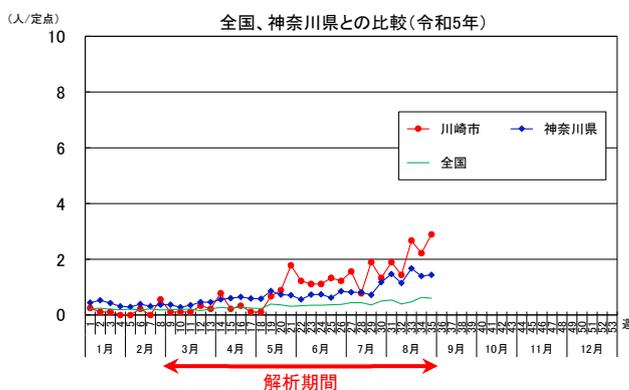
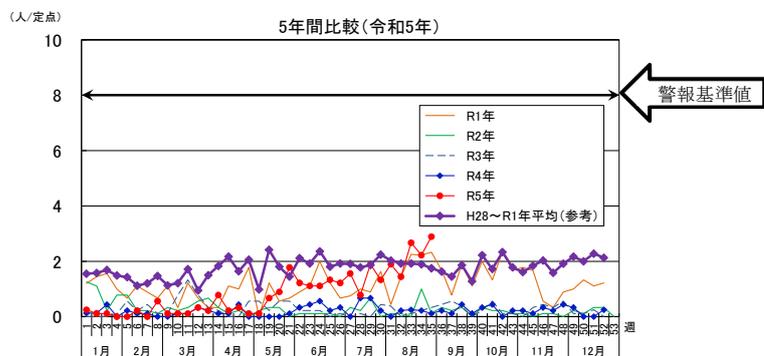


## 流行性角結膜炎(警報基準値:定点当たり8人)

### 【川崎市】

今期は定点当たり 1.03 人の報告があり、新型コロナウイルス感染症の流行前と比較すると 0.57 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

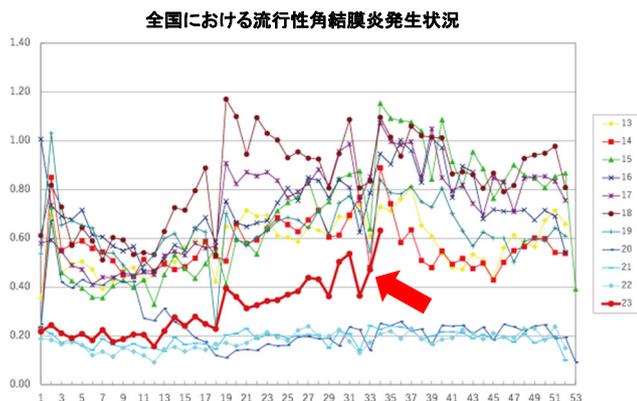
今期、流行発生警報基準値以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

### 【全国及びその他】

全国的にも例年よりやや低いレベルで推移しました。



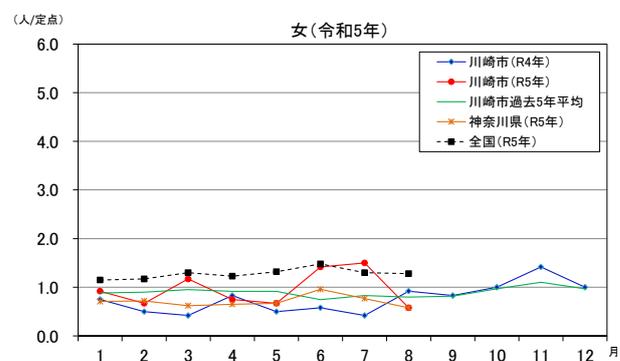
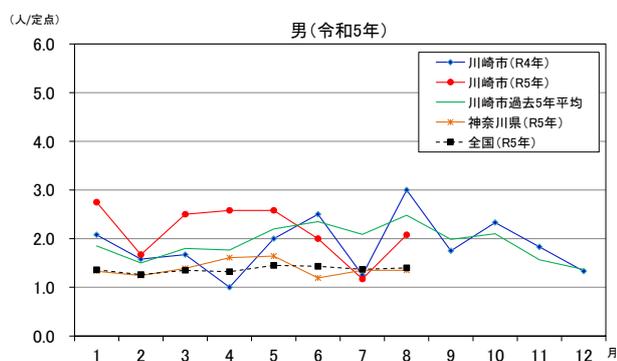
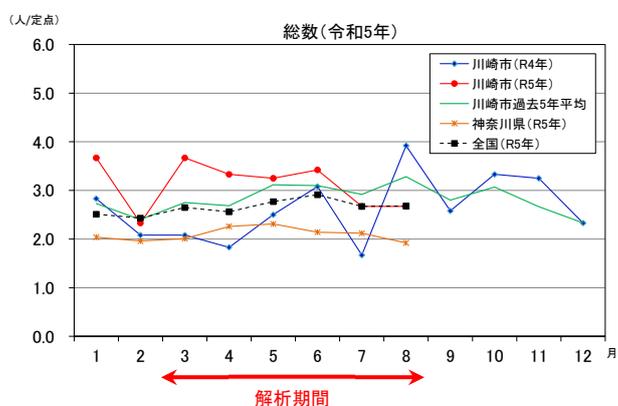
## <性感染症定点対象疾患>

※新型コロナウイルス感染症が流行した令和2年から令和4年においても、報告数に著しい変化がみられなかったため、過去5年平均と比較を行った。

### 性器クラミジア感染症

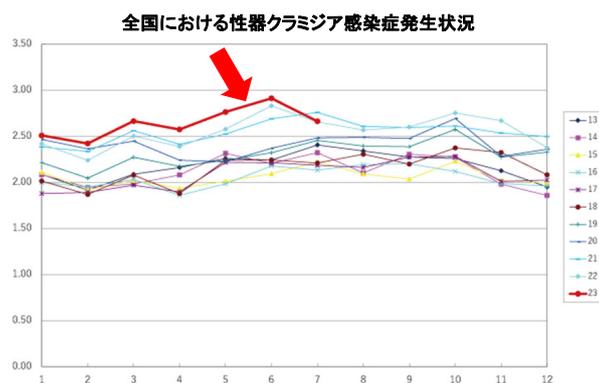
#### 【川崎市】

今期は定点当たり3.17人の報告があり、過去5年平均の報告数と比較すると1.07倍で、例年並みのレベルで推移しました。男性は3月～5月、女性は6月～7月に報告数が増加しました。



#### 【全国及びその他】

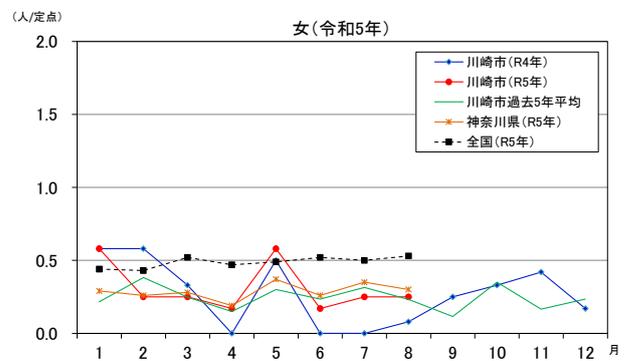
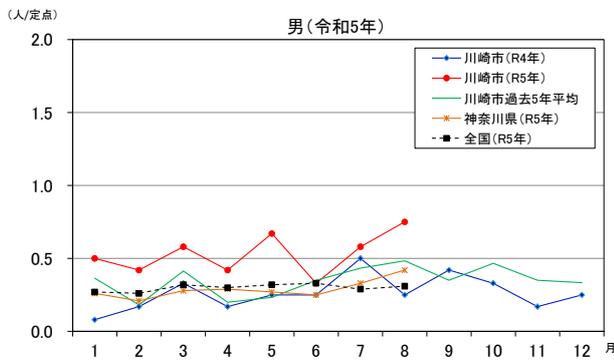
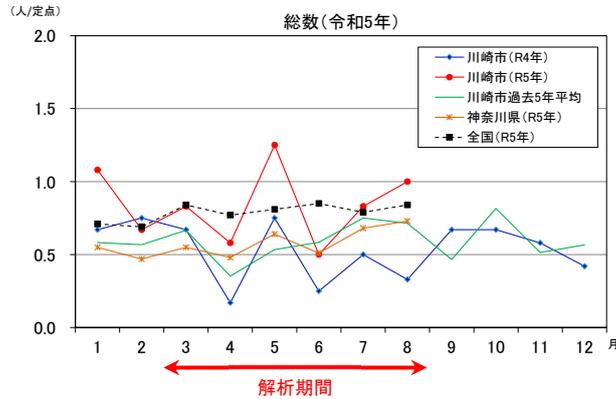
全国的には例年よりやや高いレベルで推移しました。



# 性器ヘルペスウイルス感染症

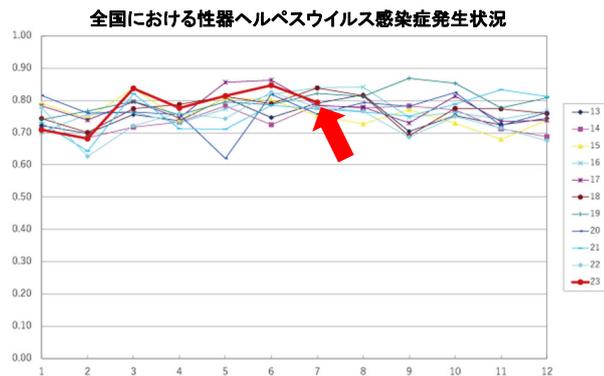
## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.83 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.38 倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。男性は 5 月及び 8 月、女性は 5 月に報告数が増加しました。



## 【全国及びその他】

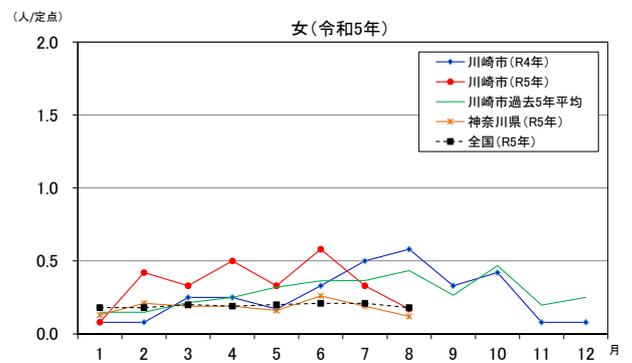
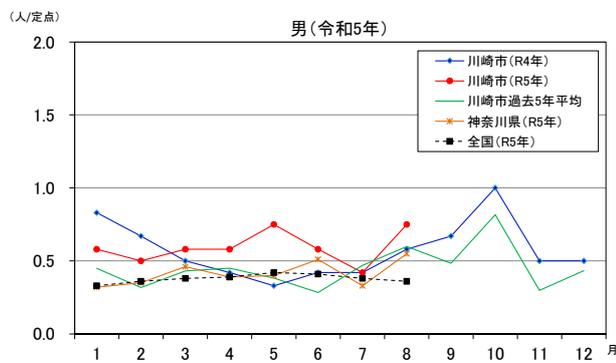
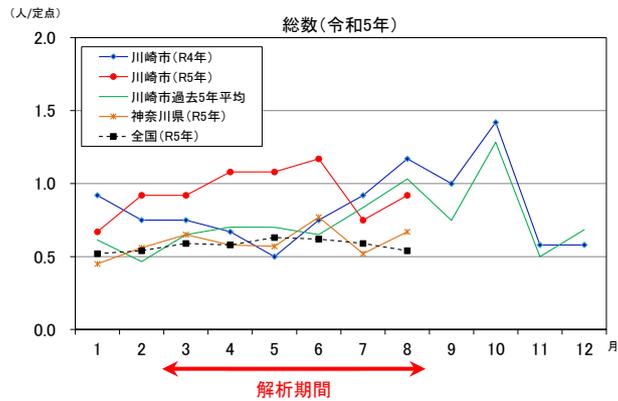
全国的にも例年よりやや高いレベルで推移しました。



# 尖圭コンジローマ

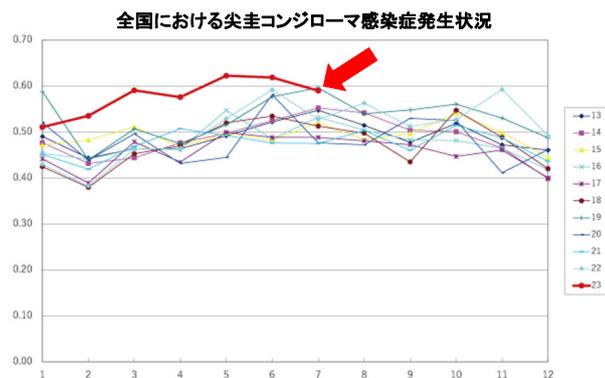
## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.99 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.30 倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。男性は 5 月及び 8 月、女性は 4 月及び 6 月に報告数が増加しました。



## 【全国及びその他】

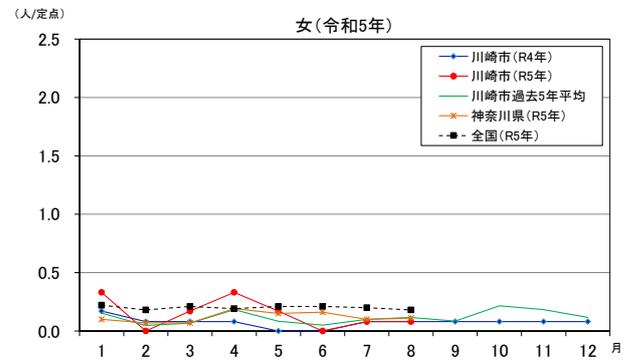
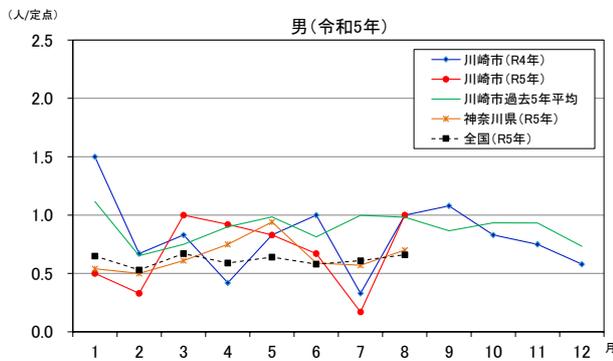
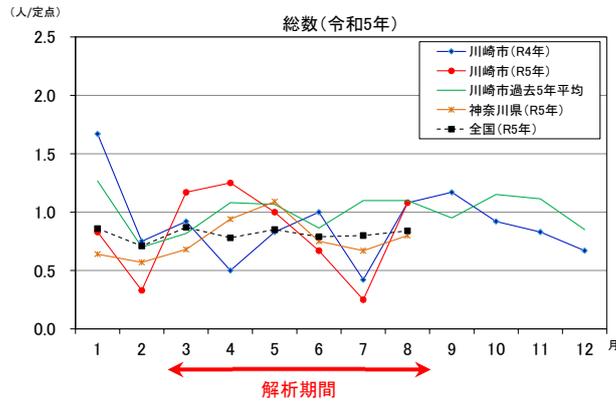
全国的には例年より高いレベルで推移しました。



# 淋菌感染症

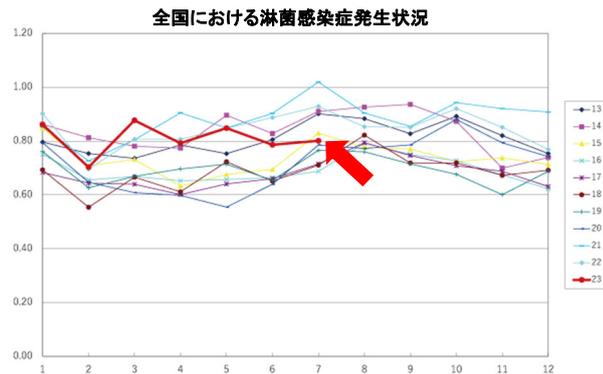
## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.90 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.90 倍で、例年並みのレベルで推移しました。男性は 3 月及び 8 月に報告数が増加しました。



## 【全国及びその他】

全国的にも例年並みのレベルで推移しました。



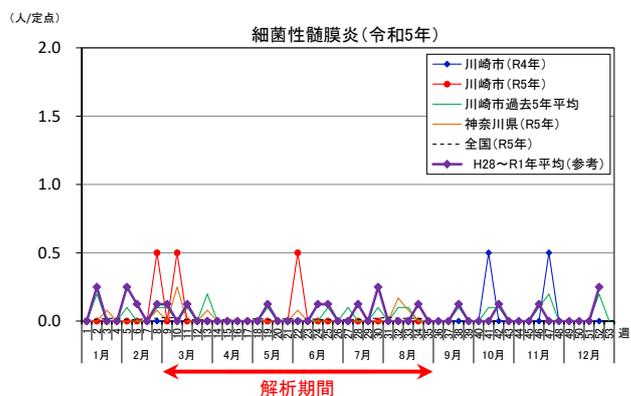
## <基幹定点対象疾患（週報）>

※令和2年から令和4年は新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、報告数が著しく減少したため、平成28年から令和元年の平均と比較を行った。

### 細菌性髄膜炎

#### 【川崎市】

今期は定点当たり 0.04 人の報告があり、新型コロナウイルス感染症の流行前と比較すると 0.94 倍で、例年並みのレベルで推移しました。

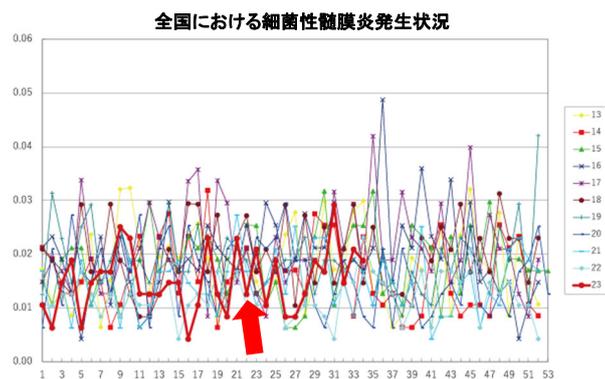


なお、検出された病原菌は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	届出週	検査材料	検査結果
川崎区	女	57	第10週	髄液	<i>Staphylococcus aureus</i>
宮前区	男	70	第22週	髄液	<i>Streptococcus dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>

#### 【全国及びその他】

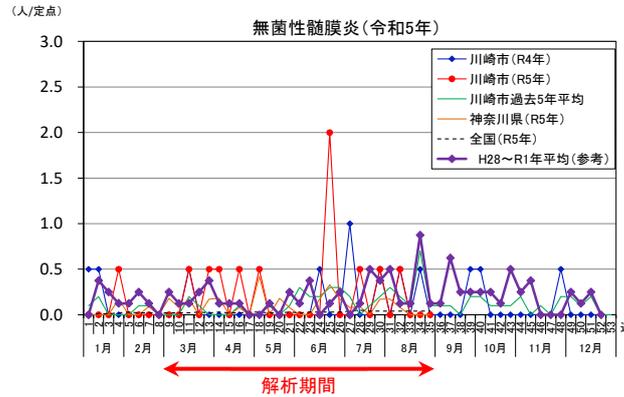
全国的にも例年並みのレベルで推移しました。



# 無菌性髄膜炎

## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.22 人の報告があり、新型コロナウイルス感染症の流行前と比較すると 1.07 倍で、例年並みのレベルで推移しました。

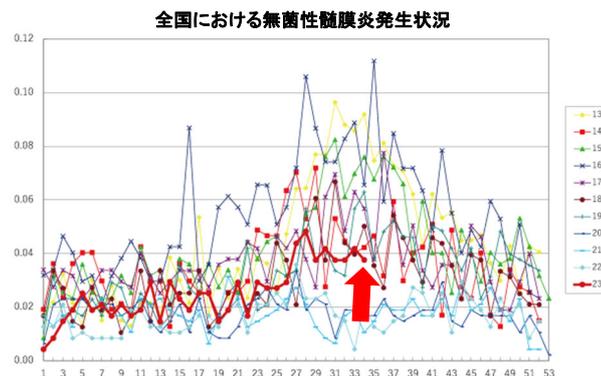


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
川崎区	男	61	R4.3.17	髄液	陰性
川崎区	女	18	R4.3.24	髄液	陰性
川崎区	男	28	R5.4.4	髄液	水痘・帯状疱疹ウイルス
川崎区	女	76	R5.4.19	髄液	陰性
川崎区	女	90	R5.4.20	髄液	水痘・帯状疱疹ウイルス
宮前区	男	2 か月	R5.6.15	髄液	ヒトパレコウイルス 3 型、サイトメガロウイルス
				咽頭ぬぐい液	ヒトパレコウイルス 3 型
				便	ヒトパレコウイルス 3 型、ライノウイルス
宮前区	男	1 か月	R5.6.17	髄液	陰性
				便	ヒトパレコウイルス 3 型
宮前区	男	1 か月	R5.6.18	髄液	ヒトパレコウイルス 3 型
				便	ヒトパレコウイルス 3 型
宮前区	女	1 か月	R5.6.19	髄液	ヒトパレコウイルス 3 型
				便	ヒトパレコウイルス 3 型
宮前区	男	13	R5.7.9	血清	陰性
				髄液	陰性
				咽頭ぬぐい液	EB ウイルス
				尿	陰性
				便	陰性
川崎区	男	37	R5.7.26	髄液	陰性
川崎区	女	22	R5.8.9	髄液	陰性

## 【全国及びその他】

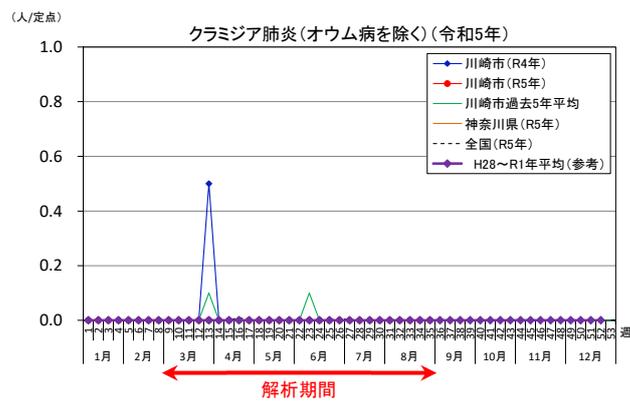
全国的にも例年並みのレベルで推移しました。



## クラミジア肺炎(オウム病を除く)

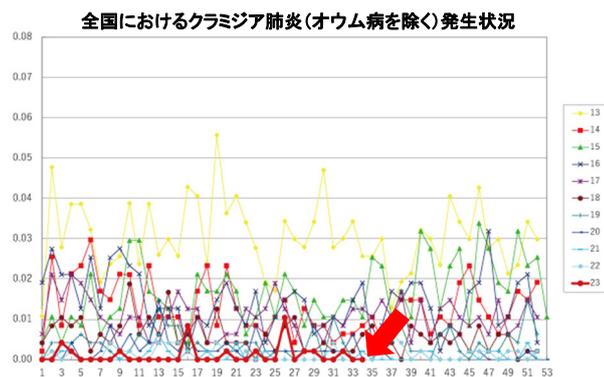
### 【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



### 【全国及びその他】

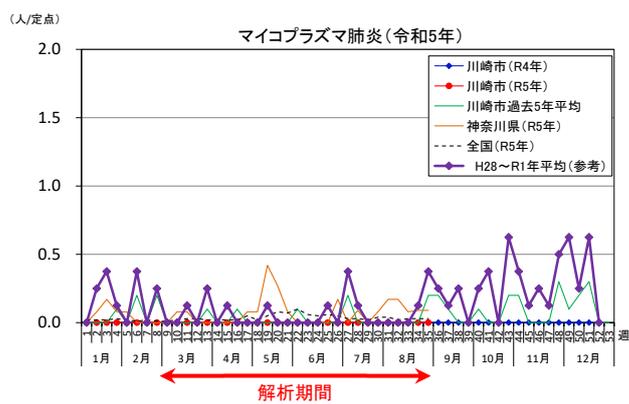
全国的には例年より低いレベルで推移しました。



# マイコプラズマ肺炎

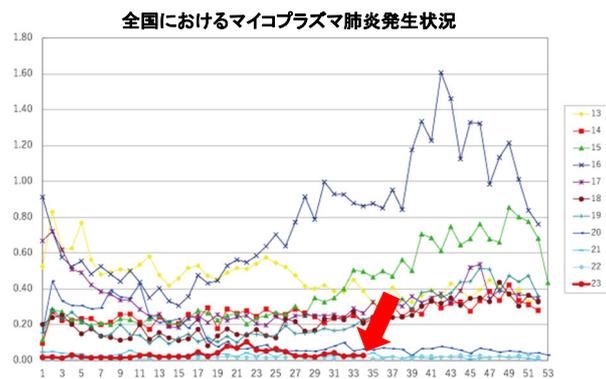
## 【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



## 【全国及びその他】

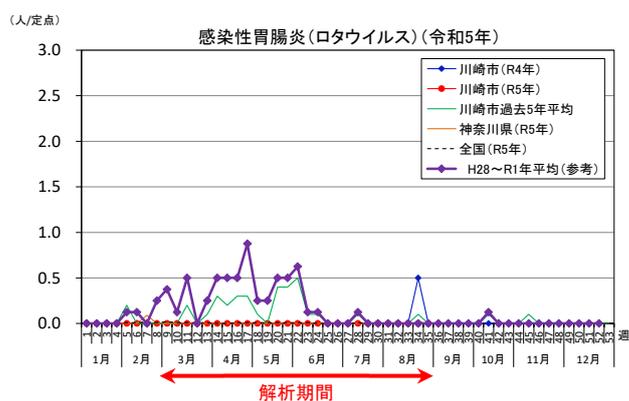
全国的には例年より低いレベルで推移しました。



# 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

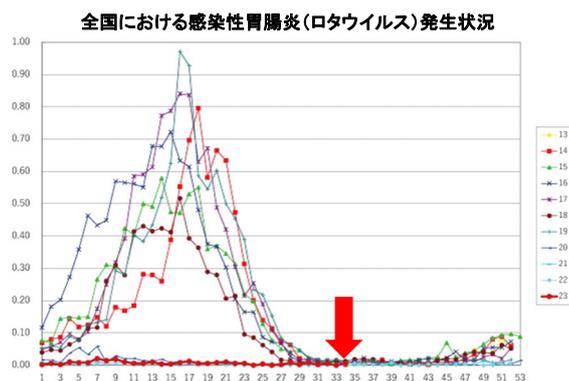
## 【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



## 【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。



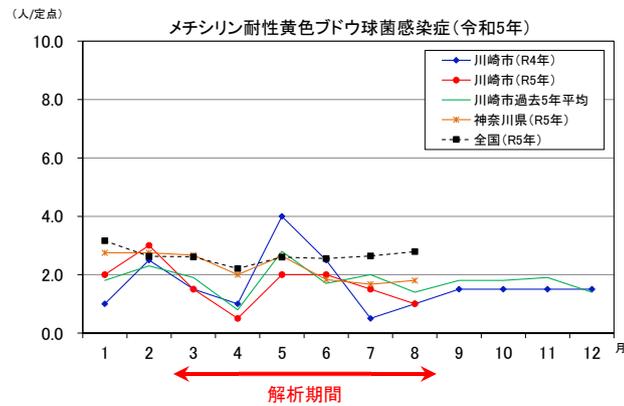
## <基幹定点対象疾患（月報）>

※新型コロナウイルス感染症が流行した令和2年から令和4年においても、報告数に著しい変化がみられなかったため、過去5年平均と比較を行った。

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

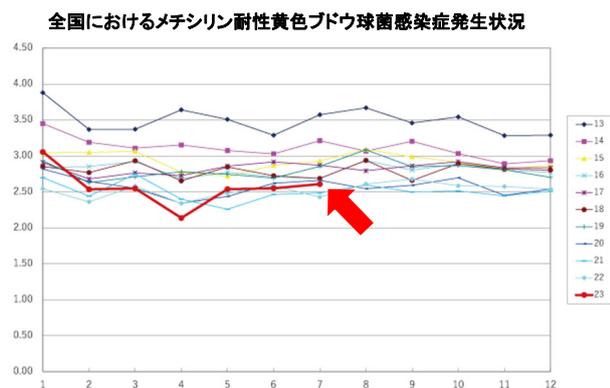
#### 【川崎市】

今期は定点当たり 1.42 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.80 倍で、例年並みのレベルで推移しました。



#### 【全国及びその他】

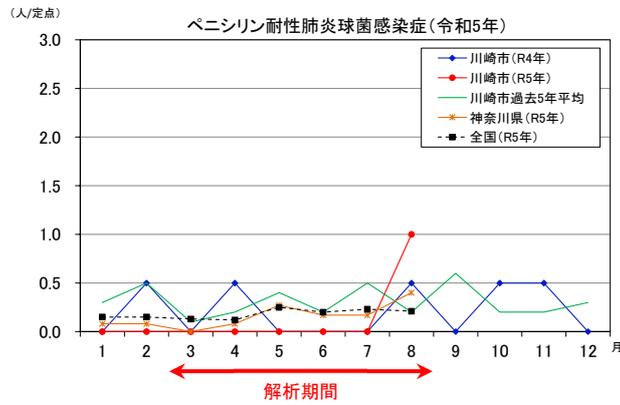
全国的には例年よりやや低いレベルで推移しました。



# ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

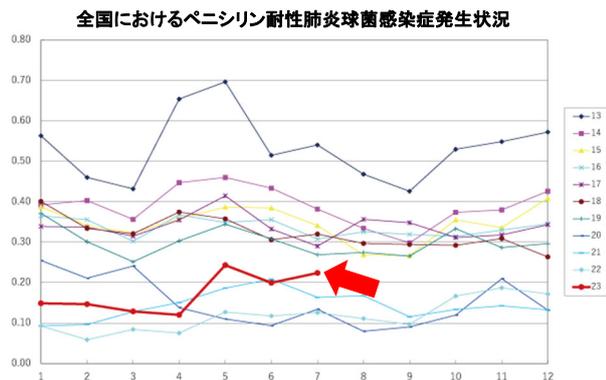
## 【川崎市】

今期は定点当たり 0.17 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.63 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。8 月に 2 件の報告がありました。



## 【全国及びその他】

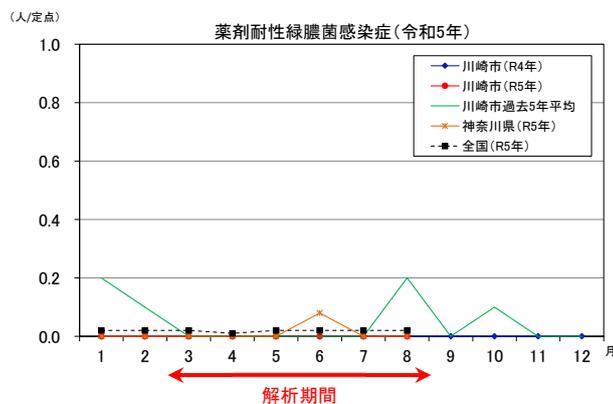
全国的にも例年よりやや低いレベルで推移しました。



# 薬剤耐性緑膿菌感染症

## 【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



## 【全国及びその他】

全国的には例年よりやや低いレベルで推移しました。

